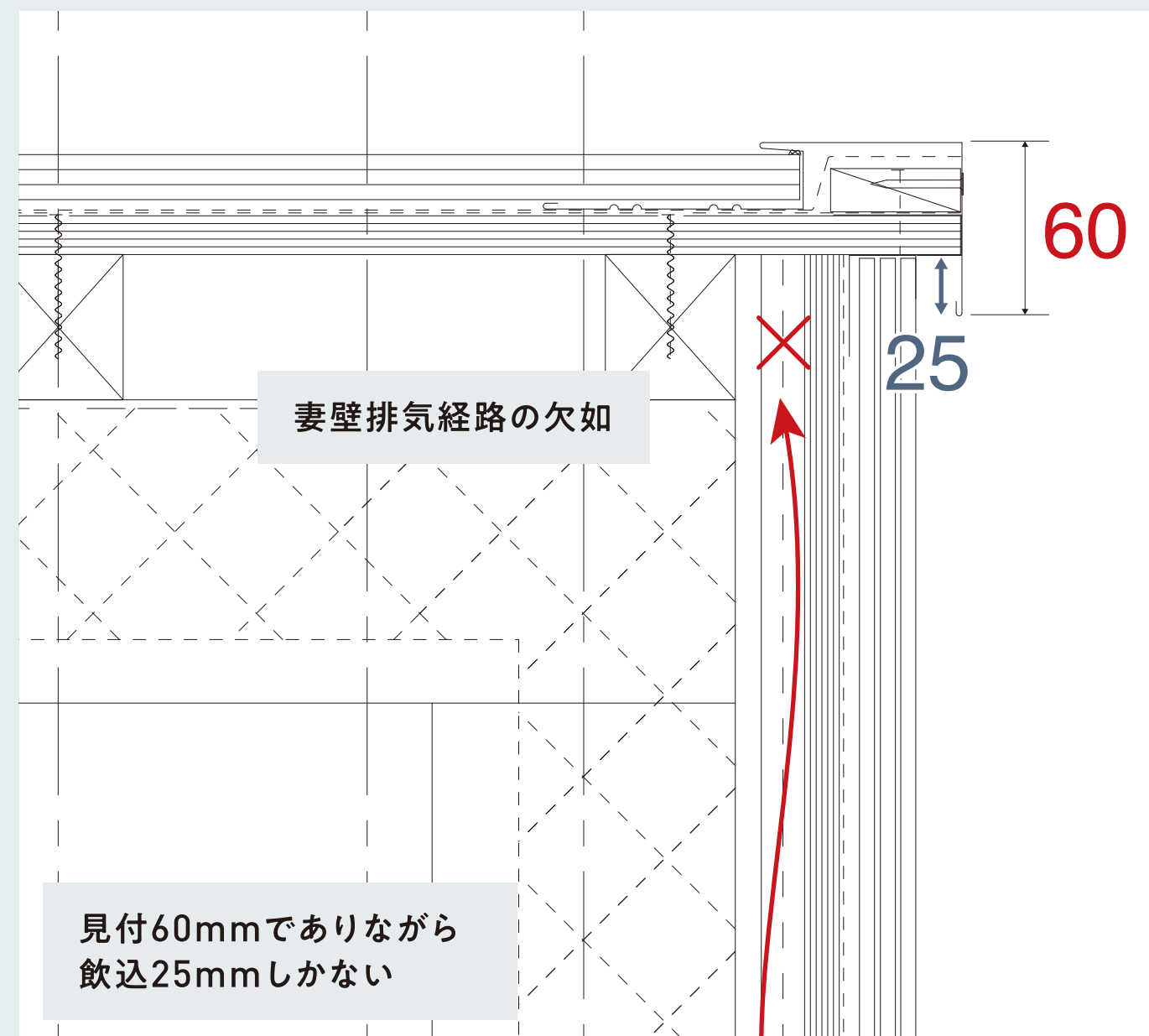


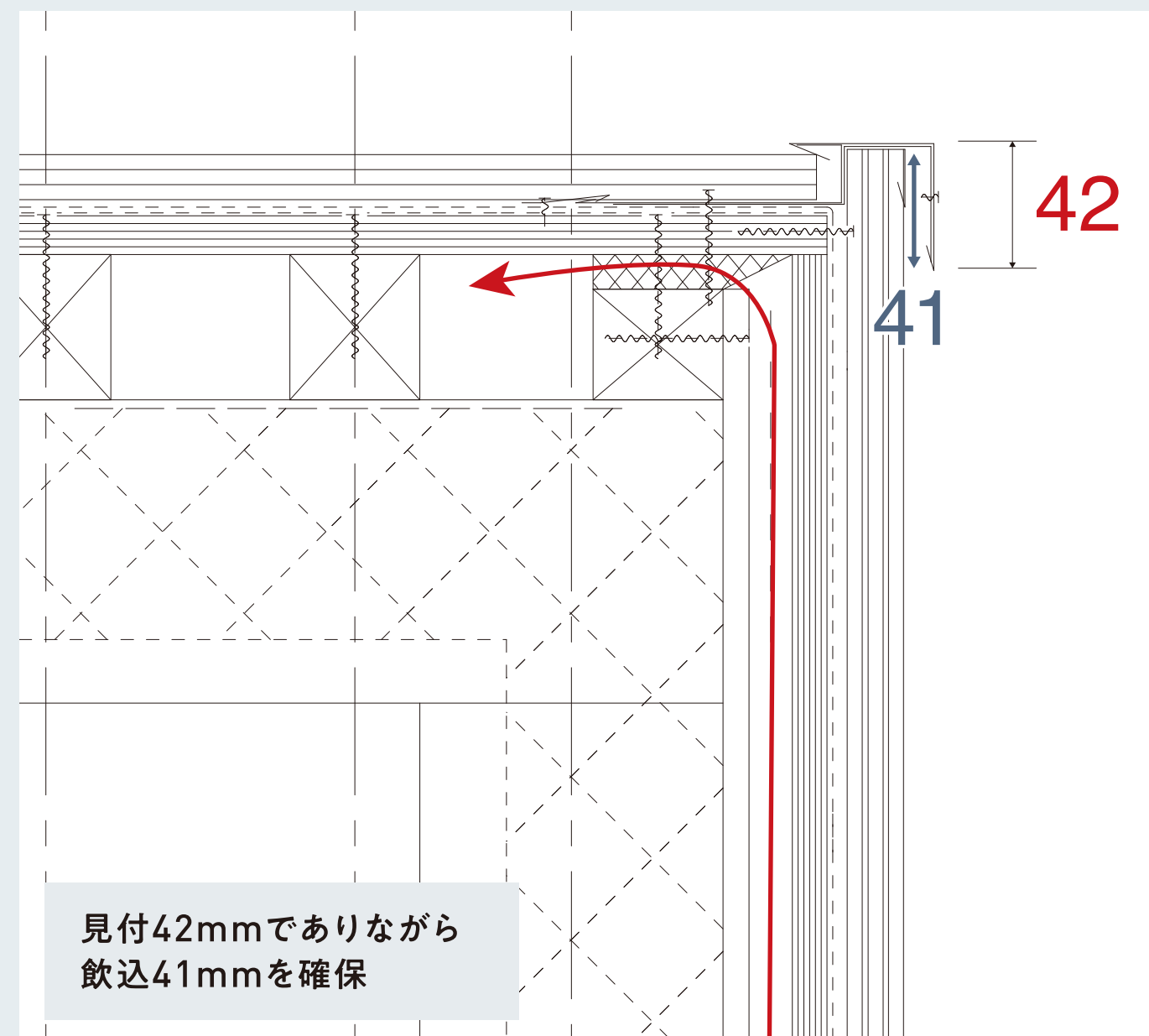
ケラバ側

垂木上部に壁の通気経路を作り、専用経路で換気棟へ導く事で妻壁の通気性能を確保。さらにケラバ水切の納まりを、通常とは逆の壁勝ち・屋根負けとした。これによりケラバ水切は汎用品の見付60mmから42mmへ縮小しながらも、飲込は25mmから41mmの1.6倍化を達成。破風周囲の意匠性と防水性を向上した。

従来納まり



軒ゼロ通気システム



巴勝ち・棟包負けによる
シャープな外観の実現

ケラバ水切の
見付最小・飲込最大化

壁勝ち・屋根負け納め
による防水性能の向上

垂木上部に
通気経路を確保

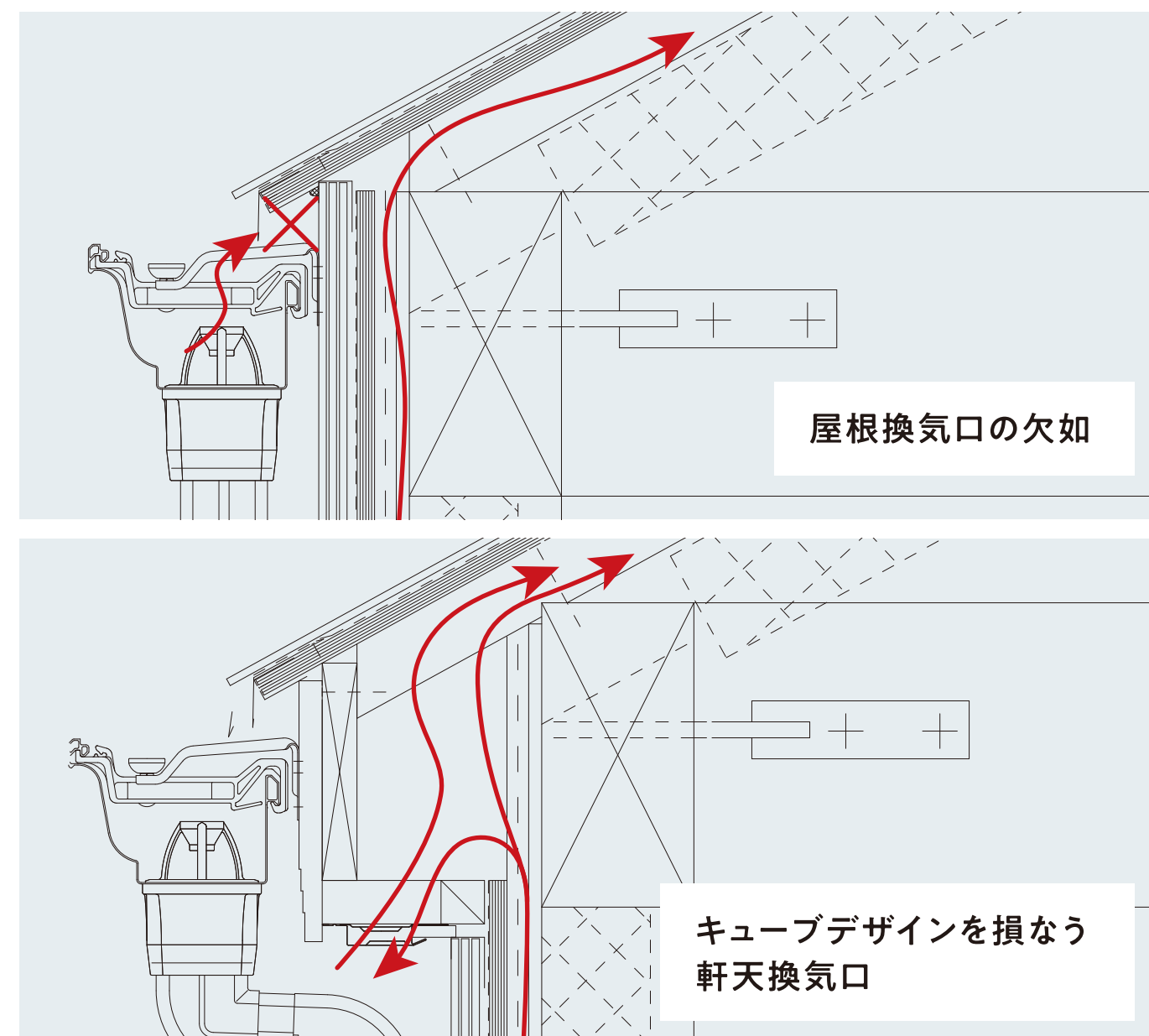
軒樋裏の死角に隠された
通気経路

外壁仕上げ素材に馴染む
鼻隠し板金

軒先側

軒樋裏の死角に換気口を設ける事で、桁壁の排出口と小屋裏の流入口の通気経路を確保。両換気口が樋の背面にある事から、強風時の雨水の吹き込みや、軒樋からの水跳ねによる雨水侵入も防ぐ。大臣認定を取得した換気部材を採用する事で、求められる防火性能を容易に付加する事を可能にした。

従来納まり



軒ゼロ通気システム

